

## ❀❀ 畑中副看護部長、長い間お疲れ様でした ❀❀

専門・認定倶楽部のみなさんへ

専門・認定看護師は相談の依頼を待つだけでなく、様々な機会を利用して、現場でのニーズを敏感に捉え、専門・認定看護師が連携し複雑で多種多様な問題に的確に対応する役割があります。その役割発揮を強固なものとするため、専門看護師・認定看護師で結成されたスペシャリストの集団である専門・認定倶楽部が存在します。発足時5名だった認定看護師が、看護専門看護師が誕生し、名前も専門・認定倶楽部と改名し総勢13名、看護部の大きな財産・資源となりました。1人ひとりが自分の役割と使命に誇りを持ち、活動の場を院内から地域へと広げ、県北地域の看護の質向上へ貢献することを期待します。

専門・認定倶楽部 顧問 畑中幸子



これからも地域に向けての活動を頑張っていきます！  
専門・認定看護師一同



### <一年間の活動報告>

がん看護専門看護師の資格を習得し、早くも1年が経過しました。

所属病棟において、今年度デスカンファレンスを実施しました。デスカンファレンス後のスタッフの意見として、「悩んだことも多かったが、看護の振り返り、自分の看護を肯定的に捉えることができ励みになった」、「他職種の関わりを知ることができ、多職種のカンファレンスは学ぶことが多かった」などデスカンファレンス開催のニーズが高いことが分かりました。

来年度は、所属部署以外にも目を向け、少しずつ活動の場を広げ頑張っていきたいと考えています。そのため、がん患者さんの看護上の悩みやデスカンファレンス等の機会がありましたら一緒に考え実践していきますのでよろしくお願いします。

がん看護専門看護師  
松尾留美子



### ジカ熱について知っていますか？

ジカ熱の原因となるジカウイルスは1947年にウガンダのジカ森林にいるアカゲザルから初めて分離されました。

一昨年話題となったデング熱と同じヒトスジシマカが媒介となりですが、性行為での感染疑い事例も報告されています。

症状は軽度の発熱、発疹、結膜炎などの軽い症状であり気付かない人もいます。ただ、妊婦さんが感染すると胎児に感染し、小頭症を発症することがあり流行地では問題になっています。

予防対策としては蚊に刺されないことです。今年は流行地であるブラジルでオリンピックが開催されます。開催時期には蚊は減少していると言われてはいますが、行く予定のある方は肌の露出を避け、虫よけスプレーを使用するなど対策を十分に行いましょう。

(ジカ熱は2016年感染症法上4類感染症に指定されました)

感染管理認定看護師 岩本さゆみ

